教育かわら版
こんにちは教育委員会です ふたたび

No.１５６
令和３年６月２５日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

久しぶりに、本当に久しぶりに１校だけですが、子どもたちの様子を見てきました。
久慈校長先生に案内されて、休み時間と授業時間の様子を拝見できました。
廊下ですれ違うとき、そして階段を下りてくる子どもたちと目が合ったとき、「こんにちは」と挨拶をしてくれることが何よりうれしかったです。最近こんな目の前で子どもに会うことなかったものな、と･･･。
「孫の顔が見られなくて寂しいんだよ」と呟いていた地域の方の気持ちがよく分かりました。（あ、私まだ孫いません）





写真は休み時間の３年生と授業中の６年生です。
町内の全児童生徒に行き渡ったタブレット（Chromebook）。小５年から中３までは LTE 契約で携帯電話と同じ通信環境で使えます。小学校２校は Wi-Fi 環境も構築されています。
訪問したときは休み時間に３年生が数人、調べ物や残った課題なのか自由に使っていました。
６年教室に行くと、休み時間は男の子二人が修学旅行の資料をシェアして編集していました。授業に入った写真が右上のもの。鍵盤ハーモニカの代わりにタブレットで演奏練習をしていました。校長先生によると、先生方も個人でガイドブックを購入したり、教え合ったりして研鑽してくれているとのこと。感謝です。
私はタイプライターを経験せずにワープロで仕事に入った世代です。その後はデスクトップパソコンから持ち運びのできるノートパソコンへ。データの記憶装置もフロッピーディスクから CD ー R、USB、HDD から SSD。そして今子どもたちが使っているデータはクラウド保管です。
時代は変わった。そう実感した数時間の訪問でした。そしてまた、『書く活動』の重要さも。

ごめんね

成人祭実行委員会で２年分の代表者にこう話しました。「ごめんね」と。延期していた昨年度の成人者と今年度の成人者は、私が今金町で校長をしていた時代の子どもたちです。教え子です。
誰よりも式典をしてあげたかった。そう思っている一人です。
ただ、コロナの状況、ワクチン接種の状況、開催時期の人の流れ、お盆にオリンピック。それらを考え、案内状発送の時期が迫る中で、町部局と相談し、式典中止と記念品・冊子等の送付でのお祝いに決めさせていただきました。
実行委員会に来てくれた昨年度の代表３名と今年の２名の顔を見ていたら、正式な挨拶なのに「ごめんね」と言っていました。抵抗感はありませんでした。
会いたかったね。でも、こういうときもあったねと頑張れる時代が来ることを祈って。